『ワールドカフェ in くまの』に参加した児童の感想



各小学校の垣根を越えて
コミュニケーションの輪が広がりました。



最後に普段は入れない
議場を見学しました。



話し合っていくうちにどんどん
良いアイデアが浮かんできました。



未来の熊野町議会議長になる!?

ワールドカフェ in くまの を終えて



熊野町の将来を担う小学6年生28名の皆さんと一緒に“まち”の未来について語りあいました。皆さん、緊張気味でしたので、はじめに全員参加のミニゲームでウォーミングアップをしました。

近所に駄菓子屋が欲しいとかゲームセンターが欲しいといった小学生らしい意見からマンションなど住む場所を増やして熊野町の人口増を狙った議員顔負けの本格的な提案まで様々な意見が出ました。

誰もが住みよい街・熊野町を目指すには子供の目線に立った意見も重要だと感じました。

題字の揮ごう者



熊野中学校２年生
井上（いのうえ） 友杏（ゆず）さん

あとがき

筆の里工房・創作館が９月23日にオープンしました。オープン前の８月23日に行われた「文化芸術のまちづくりシンポジウム」で、テレビ番組「プレバト」の水彩画審査員として活躍され熊野町文化芸術のまちづくり応援大使でもある野村重存（のむらしげあり）さんの基調講演がありました。

野村さんは、子どもから大人まで経験の有無にかかわらず、自由に創作を楽しめる創作館を目指すと語られました。作品づくりを通して人と人との出会い、地域とのつながり、そして未来への希望を育む願いが創作館には込められています。創作館が町内外の人々に親しまれ、笑顔と感動にあふれ、新しい感性や文化が生まれるまちづくりの核となるよう、私たち議会の役割も大きいと考えています。

光本 一也

次の定例会は 12月1日（火曜日） 開会を予定しています

「くまの議会だより」は、認定を受けた環境にやさしい環境対応型インキを使用して印刷されています。